

令和元年度豊岡市障害者自立支援協議会 部会報告書

【しごと部会】

【会議】第1回(6/17)、第2回(7/12)、第3回(8/9)、第4回(9/13)、第5回(10/11)、第6回(11/8)、第7回(12/13)、第8回(1/10)、第9回(2/7) 【就労ガイダンス】第1回(1/29)、第2回(2/13)

現状と課題	今年度の方針	部会で取り組んだこと	取り組みから見えてきたこと	今後の方針	豊岡市への提言
<p>障害者の就労を支援する就労系障害福祉サービス事業所において、障害者の一般就労に関する取り組みが進んでいない。</p>	<p>就労ガイダンスの実施</p>	<p>【上半期の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就労ガイダンスの実施に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 就労を希望している障害者の不安軽減や就労準備性を整える機会を持つ。また、就労支援事業所の一般企業への就労支援の一部を担う。 ・対象者 就労を希望している、或いはその思いはあるが不安を感じている障害者(+その支援者) ・その他 内容については協議中 ●その他 就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメント運用研修へ参加(7/19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関が就労支援を実施しているが、その状況が把握できていない。 ・就労支援を行う専門機関はあるが、上手く活用できていないサービス事業所がある。 ・サービス事業所が多忙のため、就労支援に取り組むことが困難な状態。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ガイダンスの実施 ・各関係機関の就労支援の状況を部会で共有。その上で専門機関が補いにくい課題を精査し、優先順位をつけて取り組む。 	
		<p>【下半期の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就労ガイダンスの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・講師 豊岡公共職業安定所 但馬障害者就業・生活支援センターリンク ・第1回 日時 1月29日 場所 豊岡市立野庁舎1階 A会議室 対象事業所 ロマンハウス 参加者 12名 (当事者8名、職員1名、相談員3名) ・第2回 日時 2月13日 場所 豊岡市立野庁舎1階 多目的ホール 対象事業所 らいふステーション 参加者 17名 (当事者9名、職員2名、相談員6名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ガイダンスを実施し、当事者をはじめ、事業所職員、相談員の一般就労に対する意欲や意識が高まった。 ・当事者が支援機関に個別相談できる機会が持てたことで、自分で考えるきっかけになった。 ・一般就労への意欲や意識を低下させないためにも、単発的な事業にとどめず、ステップアップのための就労ガイダンスや関わりが必要になる。 ・参加機関においては、当事者のニーズや支援機関のアドバイスをもとに、サービス等利用計画や個別支援計画を活用しながら、就労支援をプランニングしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●就労ガイダンスを実施した事業所にアンケートを行い、以下について取り組んでいく。 ・就労ガイダンスの見直し ・今後の就労支援策の検討 ・多様な働き方についての検討 ・各事業所へ就労準備性を高めるための支援の導入サポート ・各事業所の就労希望者や見込者の把握 ●市が施策として取り組む短時間雇用創出事業の運営に協力する。 	
<p>働き手が必要な企業が多くあるにも関わらず、障害者雇用の募集は少ない。</p>	<p>障害者の就労に関する理解や企業の取り組みを伝える。</p>	<p>【上半期の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害者雇用に取り組んでいる企業を市広報で紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 障害者雇用に取り組んでいる企業を地域住民に広く知ってもらうことで、障害者雇用の理解を深め、雇用の拡大を図る。 ・時期 豊岡市広報4月号(3月25日発行) ・対象者 豊岡市民 ・候補企業 株式会社 但馬どり ・内容 企業取材し、雇用のきっかけ、経緯、企業の考え方、支援の状況、雇用されている障害者の声などを伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・企業インタビューの実施及び入稿。 ・豊岡市広報掲載後に、豊岡市やハローワーク等から反響の聴き取りを行いながら、本活動の評価および振り返りを行う。 	
		<p>【下半期の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月11日株式会社但馬どりにて企業インタビューを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報での情報発信だけでは十分周知できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市広報4月号(3月25日発行)掲載予定 ・誰にどのような情報を伝えたいかを明確にし、情報発信の内容、方法、媒体等を検討する必要がある。 	

しごと部会

令和元年度豊岡市障害者自立支援協議会 部会報告書

【こども部会】

【会議】第1回会議(7月9日)、第2回会議(9月5日)、第3回会議(10月23日)、第4回会議(11月14日)、第5回会議(1月31日)
 第1回お話カフェ(9月27日)、第2回お話カフェ(12月19日)

現状 と 課題	今年度の方針	部会で取り組んだこと	取り組みから見てきたこと	今後の取り組み方針	豊岡市への提言
<p>子どもの成長や発達に悩みのある保護者が孤立しないよう、またその悩みや不安感を軽減することができるような保護者同士のつながりの場が必要。</p>	<p>昨年度に続き、保護者同士の横のつながりを広め深める場として「お話カフェ」を開催する。</p>	<p>【上半期の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回お話カフェ開催に向けて打ち合わせ・準備 ●第1回お話カフェの開催 日時：2019年9月27日10：00～12：00 場所：豊岡市役所立野庁舎多目的ホール 参加：16名 <p>【下半期の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回お話カフェの振り返り ●第2回お話カフェ開催に向けた打ち合わせ・準備 ●第2回お話カフェの開催 日時：2019年12月19日10：00～12：00 場所：豊岡市役所立野庁舎多目的ホール 参加：11名 ●第2回お話カフェの振り返り 	<p>悩みや不安を抱いておられる保護者の方にとって、同じような悩みを持つ保護者同士のつながりがとても大切であり、お話カフェのような横のつながりを広め深める場が求められている。</p>	<p>保護者同士のつながりを広め深める場として「お話カフェ」を継続。</p>	

令和元年度豊岡市障害者自立支援協議会 部会報告書

【せいかつ部会】 住居について考えるプロジェクトチーム

【会議】第1回（4/23）、第2回（5/21）、第3回（6/6）、第4回（7/5）、第5回（7/30）、第6回（8/29）、第7回（9/24）、第8回（11/6）、第9回（11/28）、第10回（1/7）、第11回（2/14）
【研修会】第1回（6/19）、第2回（7/17）【意見交換会】（1/17）

現状 と 課題	今年度の方針	部会で取り組んだこと	取り組みから見てきたこと	今後の方針	豊岡市への提言
せいかつ部会 住居について考えるプロジェクトチーム 精神科病院や入所施設からの地域移行を進めるにあたり、住まいの確保は必須である。しかしアパート等の契約に至るまでは様々な壁があり、移行支援がスムーズにいかないことがある。	入居支援で支援者（福祉関係者）と不動産業者が関係を築いてスムーズに連携し、障害者の地域生活が進むようにする。 そのために相談支援専門員が入居支援の知識とスキルを学ぶ機会を設ける。 また、不動産業者にも地域で暮らす障害者の支援について知っていただく機会を設ける。	【上半期の取り組み】 ●相談支援専門員を対象にした「住まいの確保に係る支援者研修会」を実施 第1回 日時：6月19日（水）9:10～10:30 内容：グループワーク 入居支援が必要な事例について 住まい確保に必要なこと 講評・質疑応答 （株こうのとりのり不動産） 参加者：18人 第2回 日時：7月17日（水）9:15～10:30 内容：グループワーク 転居後の生活支援のプラン作成 ロールプレイ（アパート探しの場面） 講評・質疑応答 （株こうのとりのり不動産） ●これまでの活動のまとめについて検討	相談支援専門員が障害者が一人暮らしをするという選択肢を持てていなかったり、一人暮らしを支える体制を作る経験が少ないことが浮かび上がってきた。		今年度作成した入居支援のしおりが、障害者等の入居支援の一助となるよう関係機関と連携を図ること。
		【下半期の取り組み】 ●入居支援のしおりの作成 これまで不動産関係者へのヒアリングや懇談会、相談支援専門員を対象とした研修会等々を行い、入居に際しての課題の整理や情報共有を行ってきた。 下半期の取組みとして、本人及び支援者向けの障害者等の入居手続きのポイントを整理した入居支援のしおりを作成した。 ●入居支援のしおり作成に係る不動産関係者との意見交換 日時：1月17日（金）13:30～14:45 内容：「入居支援のしおり（案）」についての意見交換 参加者：4社5名 （昨年度アンケート回答の15社に案内） その他 欠席の会社には後日文書でしおりについての意見を募集を行ったが、特に意見はなかった。	入居前支援だけでなく、地域生活の支援体制を作り、入居後も引き続き情報共有を行うなど、不動産関係者、相談員、地域、行政等が連携し、入居した障害者も周囲も安心できる支援の継続性が重要。		

令和元年度豊岡市障害者自立支援協議会相談支援グループ

下半期活動報告書

◆就労に関する支援のあり方について

就労に関する支援の在り方について、事例検討を行った。

本人家族の課題(働く意味や将来のビジョンが不透明)、支援者の課題(職員の意識や、関係機関の連携不足による支援の方向性のズレ)が見えてきた。就労のイメージを支援者の考えですすめるのではなく、本人家族と共に考えていく働きかけが大切であると感じた。

しごと部会による「就労ガイダンス」に当事者と支援者が参加することで、専門機関との繋がりを持ちたり、就労について共に考えるきっかけになった。

◆児童期の相談支援について

児童期の相談支援について、現状と課題を話し合った。

担当者会議や連携など、顔の見える関係づくりが希薄になりつつあること、家族支援の重要性、計画相談支援待機者が常態化していること、セルフプランの取扱いや対応の難しさ、などの意見が挙げられた。

児童期の成長発達が目まぐるしく、早期の対応と適切な支援・訓練が重要と言われている中で、毎月のように新規相談の依頼があるにも関わらず、相談支援事業所の抱える業務量(担当件数)も飽和状態であり、計画相談を引き受ける事業所が見つからず、結果としてサービス利用に繋がられない。

サービス利用に繋がる方法としてセルフプランの選択肢もあるが、プランニングやサービス利用調整を自身で行わなければならない、当事者家族も事業所も戸惑いが大きい、安易な推奨は危険である。

計画相談待機者の課題は、子どもの成長発達を阻んでいるとも言える。成人期の計画相談もスムーズに受け入れが進んでいるとは言えず、事態は深刻である。

今後、市を含め関係各機関との話し合いを検討している。

◆来年度の方針について

相談員の業務量(担当件数)が多く、質が担保できにくい状況であるため、事例検討の進め方や内容などを再検討した上で、地域課題の抽出を行う。